



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: www.npb.or.jp



2020年12月21日

日本プロフェッショナル野球組織
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパー J S A T 株式会社

2020 スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞

西浦直亨選手(東京ヤクルトスワローズ)と井上晴哉選手(千葉ロッテマリーンズ)に決定！

セントラル、パシフィック両リーグが第三者公式表彰として制定しておりますスカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞(協賛:スカパーJSAT株式会社、以下「本賞」)の今年度の受賞選手が、セ・リーグは 東京ヤクルトスワローズの西浦直亨選手、パ・リーグは 千葉ロッテマリーンズの井上晴哉選手に決定いたしました。

本賞は、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打などを放った選手(セ・パ両リーグの各1選手)に贈られる賞です。「最後の一球まで何が起こるか分からない」と言われる野球というスポーツの象徴的なプレーであるサヨナラ打を称える本賞は、プロ野球全12球団公式戦全試合を放送し、ファンのみなさまの胸が熱くなるゲームを最後までお届けしているスカパー！の想いと連動した賞であり、今シーズン記録されたセ・リーグ17試合、パ・リーグ18試合のサヨナラゲームの中から、「最も劇的な一打」を選出しています。受賞両選手にはそれぞれオリジナルトロフィーと賞金200万円が贈られます。



「2020 スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」受賞選手

セントラル・リーグ

にしうら なおみち

西浦直亨選手（東京ヤクルトスワローズ）

～チーム10年ぶりの代打逆転サヨナラ本塁打～

西浦選手は、6月25日（木）神宮球場で行われた対阪神タイガース3回戦、1点を追う9回2死1、2塁の場面で左翼席へ値千金の代打逆転サヨナラ3点本塁打を放ち、チームに劇的な勝利をもたらした。

東京ヤクルト高梨投手、阪神秋山投手が先発したこの試合は7回を終わって0対0の投手戦となった。均衡を破ったのは阪神梅野選手。8回表、無死フルカウントからレフトスタンドへ今季1号となる先制本塁打を放った。迎えた9回裏、阪神は守護神藤川投手をマウンドに送り逃げ切りを図るが、東京ヤクルトは四球と安打で2死1、2塁のチャンスを作ると、高津監督は井野選手の代打として西浦選手を送った。無観客で静寂に包まれる緊迫した場面で2球目の直球を強振すると打球は左翼席へ飛び込み、チームの5割復帰を決める値千金の一打となった。

サヨナラ本塁打は自身初、代打逆転は球団にとって2010年川本選手以来、10年振り5人目の快挙。

パシフィック・リーグ

いのうえ せいや

井上晴哉選手（千葉ロッテマリーンズ）

～主力が離脱するチームを救う貴重なサヨナラ打～

井上選手は、10月13日（火）ZOZOマリンスタジアムで行われた対東北楽天ゴールデンイーグルス19回戦、同点で迎えた9回裏1死1塁の場面で右中間を破るサヨナラ二塁打を放った。

首位福岡ソフトバンクを猛追し、負けられない戦いが続く千葉ロッテだが、この試合は5回を終えて0対3とリードを許す苦しい展開となった。しかし6回以降1点ずつ返し8回を終え3対3の同点に追いつく。同点で迎えた9回裏、1死から福田秀選手がレフト前へ安打を放ち出塁すると、井上選手が打席に立つ。10月上旬に新型コロナウイルス感染のため主力選手が多数離脱した千葉ロッテの中で、残された主力としてチームを引っ張って来た井上選手。この試合の打順は、長く任されていた五番から七番に下がり、ここまで3打数無安打と苦しい状況であったが、カウント0-1からの2球目を振りぬくと打球は右中間を真っ二つ。一塁走者の福田秀選手が一気にホームに還り、劇的なサヨナラ勝利となった。二塁ベース上で仲間からもみくちやにされた井上選手の目には涙が溢れていた。

【2020 セントラル・リーグレギュラーシーズン公式戦 サヨナラ試合一覧 全17試合】

☆セ・リーグ 本塁打によるサヨナラ 7試合

	月日	サヨナラ打者	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前 スコア	走者	個人回数	備考
1	6月25日	西浦	東京ヤクルト	阪神	3x-1	左越本③	9回	0-1	2死1・2塁	①	代打・逆転
2	7月2日	村上	東京ヤクルト	広島東洋	9x-5	左越本④	9回	5-5	無死満塁	①	
3	7月10日	ビシエド	中日	広島東洋	3x-2	左中本①	10回	2-2	1死無走者	①	
4	7月24日	佐野	横浜DeNA	広島東洋	9x-6	右中本④	9回	5-6	1死満塁	①	逆転
5	9月1日	サンズ	阪神	東京ヤクルト	2x-1	左中本①	9回	1-1	無死無走者	①	
6	10月15日	高橋	中日	阪神	5x-3	左越本③	9回	2-3	2死2・3塁	①	逆転
7	11月4日	大山	阪神	東京ヤクルト	3x-2	左中本①	9回	2-2	1死無走者	①	

☆セ・リーグ 本塁打以外のサヨナラ 10試合

	月日	サヨナラ打者	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前 スコア	走者	個人回数	備考
1	6月21日	宮崎	横浜DeNA	広島東洋	2x-1	右中2②	9回	0-1	無死満塁	①	逆転
2	7月25日	川端	東京ヤクルト	巨人	6x-5	左前安①	9回	5-5	1死満塁	①	代打
3	8月13日	亀井	巨人	東京ヤクルト	4x-3	中前安①	9回	3-3	2死1・3塁	①	代打
4	8月25日	大和	横浜DeNA	広島東洋	5x-4	中越安①	9回	4-4	2死1・2塁	①	
5	8月28日	上本	広島東洋	阪神	4x-3	中越安①	9回	3-3	1死1・2塁	①	
6	9月1日	吉川尚	巨人	横浜DeNA	3x-2	右前安①	9回	2-2	無死満塁	①	
7	9月22日	吉川尚	巨人	広島東洋	5x-4	右前安①	9回	4-4	2死3塁	②	
8	11月1日	梶谷	横浜DeNA	阪神	6x-5	左前安①	9回	5-5	2死3塁	①	
9	11月5日	松山	広島東洋	巨人	5x-4	中前安①	10回	4-4	2死満塁	①	
10	11月14日	神里	横浜DeNA	巨人	5x-4	中前安②	9回	3-4	2死満塁	①	逆転

【2020 パシフィック・リーグレギュラーシーズン公式戦 サヨナラ試合一覧 全18試合】

☆パ・リーグ **本塁打**によるサヨナラ 3試合

	月日	サヨナラ打者	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前 スコア	走者	個人回数	備考
1	7月10日	ロドリゲス	オリックス	北海道日本ハム	4x-3	左越本③	9回	1-3	2死1・2塁	①	逆転
2	7月10日	柳田	福岡ソフトバンク	東北楽天	2x-1	左中本①	10回	1-1	無死無走者	①	
3	9月11日	茂木	東北楽天	北海道日本ハム	5x-4	右越本②	10回	3-4	1死2塁	①	逆転

☆パ・リーグ **本塁打以外**のサヨナラ 15試合

	月日	サヨナラ打者	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前 スコア	走者	個人回数	備考
1	6月19日	栗原	福岡ソフトバンク	千葉ロッテ	2x-1	中前安①	10回	1-1	2死3塁	①	
2	6月23日	荻野	千葉ロッテ	オリックス	6x-5	死球①	9回	5-5	1死満塁	①	
3	6月27日	佐藤	千葉ロッテ	オリックス	2x-1	右越安①	10回	1-1	2死1・2塁	①	代打
4	6月28日	森	埼玉西武	福岡ソフトバンク	4x-3	中前安①	9回	3-3	無死満塁	①	
5	7月2日	野村	北海道日本ハム	福岡ソフトバンク	9x-8	中越2②	9回	7-8	2死2・3塁	①	逆転
6	7月24日	外崎	埼玉西武	千葉ロッテ	3x-2	左前安①	9回	2-2	1死1・2塁	①	
7	7月28日	中村奨	千葉ロッテ	東北楽天	13x-12	死球①	9回	12-12	1死満塁	①	
8	8月20日	-	千葉ロッテ	福岡ソフトバンク	5x-4	暴投	10回	4-4	2死1・2塁	-	
9	8月26日	中村晃	福岡ソフトバンク	オリックス	4x-3	右中3①	9回	3-3	1死1塁	①	
10	8月27日	山川	埼玉西武	北海道日本ハム	8x-7	左線安②	9回	6-7	1死満塁	①	逆転
11	10月13日	井上	千葉ロッテ	東北楽天	4x-3	右中2①	9回	3-3	1死1塁	①	
12	10月20日	-	埼玉西武	千葉ロッテ	2x-1	右飛失	9回	1-1	2死2塁	-	
13	10月21日	山野辺	埼玉西武	千葉ロッテ	2x-1	右前安①	9回	1-1	2死1・2塁	①	
14	10月29日	渡邊	北海道日本ハム	オリックス	4x-3	右犠飛①	10回	3-3	1死満塁	①	
15	10月29日	-	福岡ソフトバンク	千葉ロッテ	4x-3	暴投	9回	2-3	1死2・3塁	-	



【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 歴代受賞選手】

年度	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009	亀井 義行(読売ジャイアンツ)	井口 資仁(千葉ロッテマリーンズ)
2010	天谷 宗一郎(広島東洋カープ)	小久保 裕紀(福岡ソフトバンクホークス)
2011	長野 久義(読売ジャイアンツ)	松田 宣浩(福岡ソフトバンクホークス)
2012	和田 一浩(中日ドラゴンズ)	中田 翔(北海道日本ハムファイターズ)
2013	長野 久義(読売ジャイアンツ)	浅村 栄斗(埼玉西武ライオンズ)
2014	福留 孝介(阪神タイガース)	松田 宣浩(福岡ソフトバンクホークス)
2015	雄平(東京ヤクルトスワローズ)	柳田 悠岐(福岡ソフトバンクホークス)
2016	鈴木 誠也(広島東洋カープ)	吉村 裕基(福岡ソフトバンクホークス)
2017	宮崎 敏郎(横浜DeNAベイスターズ)	栗山 巧(埼玉西武ライオンズ)
2018	下水流 昂(広島東洋カープ)	森 友哉(埼玉西武ライオンズ)
2019	高山 俊(阪神タイガース)	鈴木 大地(千葉ロッテマリーンズ)



【月間「スカパー！サヨナラ賞」歴代受賞選手】

2012年度より「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」に加え、月間賞として月間「スカパー！サヨナラ賞」を表彰しております。

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	中村紀洋(横浜DeNA)	田中賢介(北海道日本ハム)
5月	森野将彦(中日)	A. バルディリス(オリックス)
6月	和田一浩(中日)	M. ホフパワー(北海道日本ハム)
7月	石原慶幸(広島東洋)	柘田慎太郎(東北楽天)
8月	阿部慎之助(巨人)	柳田悠岐(福岡ソフトバンク)
9月	新井良太(阪神)	松井稼頭央(東北楽天)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	福留孝介(阪神)	松田宣浩(福岡ソフトバンク)
5月	畠山和洋(東京ヤクルト)	浅村栄斗(埼玉西武)
6月	M. マートン(阪神)	高橋信二(オリックス)
7月	丸佳浩(広島東洋)	嶋基宏(東北楽天)
8月	長野久義(巨人)	浅村栄斗(埼玉西武)
9月	石原慶幸(広島東洋)	片岡治大(埼玉西武)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	B. エルドレッド(広島東洋)	A. ジョーンズ(東北楽天)
5月	梵英心(広島東洋)	加藤翔平(千葉ロッテ)
6月	嶺井博希(横浜DeNA)	今宮健太(福岡ソフトバンク)
7月	福留孝介(阪神)	斉藤彰吾(埼玉西武)
8月	J. ロペス(巨人)	田村龍弘(千葉ロッテ)
9月	T. ブランコ(横浜DeNA)	松井稼頭央(東北楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	平田良介(中日)	松田宣浩(福岡ソフトバンク)
5月	福留孝介(阪神)	中川大志(東北楽天)
6月	井端弘和(巨人)	吉田裕太(千葉ロッテ)
7月	藤井淳志(中日)	中村剛也(埼玉西武)
8月	坂本勇人(巨人)	柳田悠岐(福岡ソフトバンク)
9月	中村悠平(東京ヤクルト)	B. レアード(北海道日本ハム)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	杉山翔大(中日)	吉村裕基(福岡ソフトバンク)
5月	坂本勇人(巨人)	井口資仁(千葉ロッテ)
6月	鈴木誠也(広島東洋)	B. レアード(北海道日本ハム)
7月	筒香嘉智(横浜DeNA)	B. レアード(北海道日本ハム)
8月	脇谷亮太(巨人)	森友哉(埼玉西武)
9月	J. ギャレット(巨人)	細谷圭(千葉ロッテ)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	鶴久森淳志(東京ヤクルト)	聖澤 諒(東北楽天)
5月	荒木貴裕(東京ヤクルト)	駿太(オリックス)
6月	亀井善行(巨人)	福田秀平(福岡ソフトバンク)
7月	大松尚逸(東京ヤクルト)	J. アマダー(東北楽天)
8月	宮崎敏郎(横浜DeNA)	栗山 巧(埼玉西武)
9、10月	安部友裕(広島東洋)	A. デスパイネ(福岡ソフトバンク)



【月間「スカパー！ サヨナラ賞」 歴代受賞選手】

2012年度より「スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」に加え、月間賞として 月間「スカパー！ サヨナラ賞」を表彰しております。

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	下水流昂(広島東洋)	森友哉(埼玉西武)
5月	山下幸輝(横浜DeNA)	清田育宏(千葉ロッテ)
6月	山田哲人(東京ヤクルト)	上林誠知(福岡ソフトバンク)
7月	下水流昂(広島東洋)	山下斐紹(東北楽天)
8月	鈴木誠也(広島東洋)	Y. グラシアル(福岡ソフトバンク)
9、10月	上田剛史(東京ヤクルト)	中島宏之(オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	青木宣親(東京ヤクルト)	中田翔(北海道日本ハム)
5月	高山俊(阪神)	辰己涼介(東北楽天)
6月	原口文仁(阪神)	鈴木大地(千葉ロッテ)
7月	Y. ソラーテ(阪神)	中村剛也(埼玉西武)
8月	石川慎吾(巨人)	清田育宏(千葉ロッテ)
9月	N. ソト(横浜DeNA)	E. メヒア(埼玉西武)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月	西浦直亨(東京ヤクルト)	A. ロドリゲス(オリックス)
8月	上本崇司(広島)	山川穂高(埼玉西武)
9月	吉川尚輝(巨人)	茂木栄五郎(東北楽天)
10、11月	高橋周平(中日)	井上晴哉(千葉ロッテ)